



TANAKA ホールディングス株式会社



競技の難しさ・楽しさに触れ、 理解を深める

TANAKAホールディングス株式会社は、平成24年から公益財団法人日本障がい者スポーツ協会の支援とともに、ジャパンパラ競技大会の応援・観戦を実施。夏季・冬季大会情報の収集と、社内への大会情報の伝達をするとともに、各大会では、役員によるメダル授与式への参画のほか、グループ（田中貴金属グループ）の拠点近くで行われる大会については、社内で応援観戦者を募り、会場での応援を行っている。一部大会では、会場設営のボランティア活動に参加もしている。

また、ジャパンパラ競技大会のプログラム内に設けられる体験会にも社員が参加。「みる」だけでなく、実際に競技で使われる道具や器具を実際に使いながら競技の難しさ・楽しさに触れ、より競技への理解を深めるきっかけとなっている。

さらに、ジャパンパラ各種競技大会の様子は、許諾を得た上で一部撮影し、社内の広報用映像DVDに収録。このDVDを日本国内のみならず海外のグループ拠点へも配布し、障害者スポーツの楽しさや素晴らしさ、そして選手の生き活きとした表情を伝えている。



ウィルチェアラグビー競技大会
会場設営ボランティア



表彰台の選手へメダルの授与



所在地
千代田区

業種
製造業

総従業員数
約 150 名

“生き活き” としての職場を目指して

企業運動会の実施

競技を通じて、部署・役職の隔てなく社員同士のコミュニケーションを活性化させ、グループ全体に一体感を醸成させることを目的とし、「健康促進大会」を実施。

当日は、赤・青・黄3つのチームに分かれて、大玉送りや玉入れ、綱引きやリレーなど計 10 競技を実施。

実行委員は、様々な部署から選出し若手からベテラン社員まで起用することで、部署・役職を超えて1つの目標に向かって企画・運営。イベント前から一体感を醸成できる環境を提供している。



① サークル活動認定制度による社員のスポーツ活動の奨励

グループ会社間や部署の垣根を越えた親睦を深めることを目的として、多様なスポーツ系サークルを承認し、活動を展開。半期毎に会社からの活動補助やグループ内交流大会の開催に伴う経費も支援している。サークル活動を通じて、コミュニケーションが深まることで、会話も増えてきている。

② 始業前のオフィスでの体操

毎朝、始業前の 5 分間で社員参加（原則、全員参加を推奨）の「トリムサーキット体操」を実施。



その他の 取組

STAFF'S VOICE

企業運動会は社員から実行員を募り、実行委員会形式で企画・実施しています。特に、「安全に配慮しながらスポーツに親しむ」観点で各競技を企画し、皆が楽しく安全に参加できるよう最大限の注意を払っています。また、サークル活動は、事業所横断型でのメンバー構成が可能のため、普段はなかなか会えない社員間でのコミュニケーションを深めるきっかけの場として活用されています。さらに、障害者スポーツの支援活動は、競技の体験会の機会を活用し、競技の難しさ・楽しさに触れ理解を深めながら、その競技を応援しています。